



# 有田史談会

# 月例通信

## 名護屋城博物館見学＆城址散策

【実施日時】5月23日 9:00~17:00

有田町庁舎駐車場に集合し出発時はやや肌寒い気温でしたが、当日の参加者7名は3台に分乗し出発。伊万里市東府招ICから西九州自動車道に入り、北波多ICから一般道を北上、呼子を目指しました。

研修までの時間を利用し、呼子朝市を見学しました。年々規模が縮小しており「日本三大朝市」の看板が寂しく見えました。呼子港周辺をドライブし昼食の店探しで時間を費やしました。名護屋城博物館近くへ移動し、途中でチャンポンのぼり旗が目に止まり、「寿司屋にチャンポン？」とやや不審に思いながら寿司屋に入り、結局はかつ丼とチャンポンでお腹を満たしました(笑) ショーウィンドウの変色した寿司のサンプルは笑えましたが、常連客が多く地域の名店？だと納得しました。



13:00 名護屋城博物館へ。家田館長に久し振りに再会、リニューアルされた館内と名護屋城址内を案内して頂きました。エントランスホールでは新たに明らかになった草庵茶室を見学、展示室では築城から城割り（破却）まで7年間の説明に一国一城の時期ならではの事実に驚きました。また、「黄金の茶室」が常設展示され、秀吉の権威と財力を見せつける舞台装置に圧倒されました。博物館見学の後、大手門から三の丸、本丸、天守台まで家田館長の案内で散策し、楽しい研修になりました♪♪♪



### 6月の活動

## 私の柴田コレクション解説

【日時】6月13日 13:30~15:00

【会場】九州陶磁文化館

山口信行氏による『私の柴田コレクション解説』を聞きたいと思います。山口氏は以前より古物に魅せられ私の研究をされています。楽しい話が聞けると思いますので皆さん是非ご参加下さい。

多くの方々のご参加をお待ちしています。



## 開館45周年記念 特別企画展の予告！

九州陶磁文化館で開催予定の特別企画展を学芸員の解説で鑑賞する予定です。10月以降の活動予定を見ながら決定したいと思います。お楽しみに！

## 初期伊万里ビッグバン 有料

—日本磁器始まりの全貌—

10.4土-12.7日 第3・4・5展示室

今から約400年前、肥前地方では突如として白く硬質な磁器が開発され、産業として急速に発展しました。その最初期には多久や伊万里で磁器の開発が試みられ、有田に移って爆発的に生産が発達したことが明らかになってきました。本展覧会では現代を生きる私たちをも魅了する初期伊万里の優品と草創期の資料を通じて、これまでの研究成果をもとにその起源と発展の真相に迫ります。



染付蓮文皿 肥前 有田  
1610~1630年代 山口陽二氏寄贈



染付蔓草文水指 肥前 有田  
1610~1630年代



瑠璃釉鶴文輪花小鉢 肥前 有田  
1610~1630年代 柴田夫妻コレクション



染付唐人山水文大皿 肥前 有田  
1630~1640年代